

平成31年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜後期募集）

専門科目「学校臨床心理学」（1／5）

学校臨床心理専攻 学校臨床心理専修

以下の注意事項をよく読み、次頁からの問題に解答しなさい。

注意事項

- ① この試験問題の構成と配点は以下の通りである。

問題Ⅰ：〔2頁〕

臨床心理学，教育学，教育心理学，障害児教育学という4つの領域の中から1つの領域を選んで解答すること。

配点は100点。

問題Ⅱ：〔3頁から5頁〕

8つの〔設問〕の中から2つの〔設問〕を選んで解答すること。

配点は、1つの〔設問〕が50点，2問で100点。

問題Ⅰ，Ⅱの総計で200点満点。

- ② 答案が解答用紙に書ききれなくなった場合は、当該の解答用紙の裏面に続けて書くこと。

平成31年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜後期募集）
専門科目「学校臨床心理学」（2／5）

問題Ⅰ．下記の4つの領域から1つの領域を選択し、解答用紙に解答しなさい。
(配点100点)

＜注意＞ 解答用紙の（ ）のなかに、選択した領域の番号を忘れずに記入
すること。

＜領域＞

- | |
|---|
| 1. 臨床心理学
2. 教育学
3. 教育心理学
4. 障害児教育学 |
|---|

1. 臨床心理学領域

来談者中心療法における傾聴について説明し、それに基づき自分の考えを論じなさい。

2. 教育学領域

2016年（小学校・中学校等）と2017年（高等学校等）に改訂された学習指導要領において提起されている「主体的・対話的で深い学び」について、肯定的な意見と批判的な意見の両者について整理するとともに、あなた自身の見解を含めて論じなさい。

3. 教育心理学領域

子どもの援助ニーズを把握した後に具体的な援助を行う際に、自助資源を活かすことの利点を1つ、留意点を1つ挙げなさい。さらに、その留意点に配慮した援助の方法を1つ書きなさい。

4. 障害児教育学領域

児童虐待の中には、子どもの発達を保護者が不安に感じ、育てにくいとみている例がある。子どもを「育てにくい」と感じている保護者に対して、子どもとのかかわる地域の幼稚園、保育所、認定こども園等はどうのような対応をしたらよいか論じなさい。

平成31年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜後期募集）
専門科目「学校臨床心理学」（3／5）

問題Ⅱ．以下の〔設問〕1から8の中から、2つの設問を選択し、解答用紙に解答しなさい。（各50点、計100点）

＜注意＞ 解答用紙の（ ）のなかに、選択した設問の番号を忘れずに記入すること。

〔設問〕1．次の心理アセスメントに関する文章を読んで、正しいものには○、間違えているものには×を、数字との対応がわかるようにして解答用紙に書きなさい。

- ① ロールシャッハテストは、人格検査の一つであり、投影法に分類されることが多い。
- ② 三宅式記銘力検査は、聴覚性言語性記憶検査である。
- ③ 知能検査の報告書では、検査の各問題が本人や保護者によく分かるように丁寧に記されていることが大事である。
- ④ 心理アセスメントとは、心理検査によってアセスメントをすることを指す。
- ⑤ 職場におけるストレスチェックは、特にリスクが高い人に対して行われる。

〔設問〕2．次の心理療法に関する文章を読んで、正しいものには○、間違えているものには×を、数字との対応がわかるようにして解答用紙に書きなさい。

- ① 人間性アプローチは、来談者中心療法に代表される。
- ② 逆転移とは、クライアントからセラピスト（カウンセラー）に向けられる感情反応で、幼少期の親との体験が投影されている場合が多い。
- ③ 認知療法では、認知のパターンを修正することにより治療効果を得ようとする。
- ④ フォーカシングでは、自分の身体感覚に焦点を当てることにより自律神経に働きかけていく。
- ⑤ 内観療法では、最初に絶対臥褥（がじょく）を行う。

平成31年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜後期募集）
専門科目「学校臨床心理学」（4／5）

〔設問〕3. 携帯電話やスマートフォンあるいはインターネット等を介したメールや SNS (social networking service) 等の児童生徒による利用に関する情報モラル教育の現状と課題について説明しなさい。

〔設問〕4. 大学院等において学校教職員を含む社会人が学び直しを行うリカレント教育について、その意義とこれを阻害する要因等を含めた課題について説明しなさい。

〔設問〕5. 次の空欄にあてはまる用語を、数字との対応がわかるようにして解答用紙に書きなさい。

学習を刺激と反応の連合としてとらえるのではなく、環境の中の刺激全体に対する認知構造が変化することとして考え、内的な過程を重視する理論を認知理論という。代表的な考え方には洞察説と（ 1 ）がある。洞察説を提唱したのは（ 2 ）である。

（ 1 ）を提唱したトールマンは、従来の行動主義で考えられていた S・R に対して S・O・R という関係を唱え、刺激と反応の間に媒介変数を仮定し、媒介変数の中でも（ 3 ）を重視した。

（ 1 ）の中では、手段－目的関係についての認知構造である（ 4 ）が成立することが学習であると考えられた。このようなトールマンの立場は行動主義に対して（ 5 ）と呼ばれる。

平成31年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜後期募集）
専門科目「学校臨床心理学」（5／5）

〔設問〕 6. 調査的面接法を質問紙法と比較し、調査的面接法の長所を2つ、短所を2つ挙げて説明しなさい。

〔設問〕 7. 2011年（平成23年）に改正された障害者基本法における障害者の定義の特徴を説明しなさい。

〔設問〕 8. 言語の習得において重視される「共同注意」について説明しなさい。合わせて、自閉症スペクトラムと共同注意の関係を説明しなさい。

